


SMILE があふれ、**HAPPY** を感じられる学校 


スマハピ通信

第8号

平成30年(2018年)10月31日

文責 校長 小島 昇

スクールフェスティバル開催

協働をありがとうございました！

学校行事の見直しにより、これまで初等部と中等部で別々に実施していた学習発表会を、一つの学校行事として開催したスクールフェスティバルが終了しました。スクールフェスティバルへの移行に当たり、まず考えたことは、児童生徒の頑張っている姿を今まで以上に多くの方にご覧いただきたいということでした。平日の開催ではお越しいただくのが難しかった、お仕事をされているお父様方や幼稚園・保育園の保護者に参観いただけたことは、行事見直しの成果です。本年度は行事見直しの初年度であり、内容としては、これまでの学習発表会で行ってきたことを、できるだけ踏襲することとしました。しかし、GJSの教育活動を充実させるためには、地域でお世話になっている方や日本人社会にGJSのことをさらに理解していただく必要があります。より良いスクールフェスティバルを目指し、皆様からいただいたご感想やご意見も参考にしながら、努力や工夫を重ね、改善を図ってまいります。文化フェスティバルの合同開催も含め、スクールフェスティバルの開催に当たりましては、ボランティアとして保護者の皆様には多大なご協力をいただきました。皆様の協働に、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

「まっすぐな気持ち」

第1回となるスクールフェスティバルのスローガンは「まっすぐな気持ち～Believe in yourself」でした。一人一人の児童生徒が発表する姿、演じる姿からは、「まっすぐな気持ち」が強く伝わってきました。



また今回、お互いの頑張りを認め合い、賞賛する児童生徒の姿にも「まっすぐな気持ち」を感じました。中等部の生徒の感想には「全学年の劇がとてもレベルが高くて驚いた。」を始めとして、初等部の演説発表を高く評価するものが数多くありました。(その初等部の演説発表を陰でサポートしてくれていたのは中等部の皆さんです。)初等部では、お互いのクラスに下の写真のようなメッセージを贈り合う取組がありました。

「まっすぐな気持ち」を伝え「まっすぐな気持ち」で



受け止める児童生徒の姿が見られたスクールフェスティバルでした。これからの生活の中でも「まっすぐな気持ち」を児童生徒は大切にしていってくれるものと期待しています。

9年生へのエール

他の学年と同様に、スクールフェスティバルを通して、クラスの仲間との絆を深めた9年生。生徒の振り返りには「充実した時間だった。」「達成感があった。」という記述に混じって「大きな行事がひとつ終わって安心しているが、少しさびしい感じになった。これからは他の小さな行事はあるが、今回のような大きなものはなく、卒業が近いのだなと感じた。」といった感想も見られました。素直な感情だと思います。

今週始めには、他学年よりも一足早く2学期期末テストがありました。今週末には三者面談が予定されており、進路選択に向けていよいよ具体的に準備を進めていきます。面接練習も順次行っています。9年生にとっては、精神的にも体力的にも厳しい時間となっていくことでしょう。

GJSの関係者みんなで、頑張っている9年生を応援したいと思います。

フレーフレー9年生！



(上)テスト前の「質問教室」で勉強する9年生



(左)初等部の児童と仲良く一緒に登校する9年生…リラックスする時間も大切です！

新体力テスト A 判定児童

- 1年 田口大貴
- 3年 安東有里子 上原加意 川北あい
酒井カイ敏 帯刀さやか 中村友侑
ネイデルアニャ リチネルスキ快
- 4年 木平侑衣香 田口莉子
- 5年 田口翔太 古部葵 森本小百合
- 6年 山根向陽

11月行事予定

※ HP版では公開していません。



学校間交流の相手校

- 1年 King Low Heywood School
- 3年 International School at Dundee
- 4年 Eagle Hill School
- 5年 Bruno M.Ponterio Ridge Street School
- 6年 Eagle Hill School
- 9年 Bronx Collaborative High School